

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】 注)「項目番号」の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。					
優先順位	項目番号	次のステップに向けて取り組みたい内容	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	住宅型有料老人ホーム「太陽の丘」が29年6月頃に開設予定である。「太陽の丘」のフロアを地域のサロンとして開放したいと考えており、今後も地域交流の機会を増やすと共に、認知症の理解を発信する拠点になればと考えている。	認知症予防への取り組み、又MCI(軽度認知障害)について認識を代表・管理者・職員全員で研修を行い「きたのサロン」に不特定多数の地域の皆さまにお越しいただくよう努める。	地域の皆さまに周知していただく為のパンフレット作りを基にポスティング・直接の手渡しを絶えず繰り返し急増と予測される認知症の対応に危機感を持って望みたい。	36 ヶ月
2	26	アセスメント用紙の改良を続けている。今後も「できること」「できそうなこと」「各活動の要望」「介助が必要な事(原因)」「行動障害(原因)」「解決策」等をアセスメント用紙に追加すると共に、計画内の表現も更にわかりやすくする予定である。	アセスメント用紙の改良後の用紙でアセスメントを行いさらなる本人の力・希望・夢等解決に結び付けていきたい。	アセスメントシートに職員が下書き・メモ等を書き込み、できること・できそうなこと・各活動の要望・介助が必要な事(原因)・行動障害(原因)・解決策を考慮し利用者様の不安が何なのか等対処療法も取り入れ対策をしていきたい。	12 ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月